10月26日模擬授業のリフレクション

【Iさんの授業】



①一発目なのにとても素敵な授業ありがとうございました！！先生がとても元気だと、児童たちの雰囲気も明るくなってとても活気のある授業だったと思います！お疲れ様でした！授業内で使われている英語のフレーズもとても簡単なもので、英語に慣れ親しんでいない児童でも、感覚的にわかる内容だったのでとても良かったです！参考にさせていただきます！（名前がありません）

②リフレクションが遅くなってしまい申し訳あません。模擬授業を終え安心感からリフレクションを行うことをすっかり忘れていました。 愛倫さんの模擬授業はとても手の込んだ教材、練習したであろう英語など時間をかけ挑んだ様子を見ることができました。国旗を使った世界の挨拶、そこからの活動への展開などとても良かったと思います。愛倫さんのように1つの授業に対し全力で行う姿は教育現場においてとても重要なことであると思います。しかし一方で毎日あのような授業を行ってしまうと体がいくつあっても足りません。これから教壇に立つ中で毎日のように5時間授業をしなければならない中、要領よく行なっていくことも大切になってくるかもしれませんよ笑 お疲れ様でした！

③とても明るくて、本物の先生みたいに授業していてすごいと思いました。教具がカラーでしっかりしていて、分かりやすくてよかったです。ビンゴは運なのでみんなが平等に参加できるので参考にしたいです。

④ビンゴやゲームを授業で取り入れることは児童にとって非常に興味深いものであり楽しみながら学ぶことができる授業になると考えられる。しかし、ゲームが目的になってしまい学ぶことに焦点を置かれないことも多い。まりんさんは模擬授業で、ビンゴの前にしっかりと「ビンゴが目的にならないようにしっかり挨拶をしてください」と児童に呼びかけていたところが素敵だなと感じた。活動をする前に全体で条件を共有することで、授業がスムーズに展開しやすく学んでほしいことを取得させやすいと考える。非常に参考にしたいと思える授業であったと思う。

⑤教具や細やかな手立て、教師の英語での話しかけがスムーズで、安心して楽しく授業を受けることができた。特に、ビンゴゲームの手立てでは、見本を見せた後に練習する機会を設けていたので、活動に抵抗なく楽しく参加できそうだと思った。授業素晴らしかったです。お疲れ様でした！

国旗を印刷した教具や、ワークシートなど、各国の挨拶に触れるための工夫が感じられた。また、ビンゴを取り入れることで、自然とコミュニケーションを撮ることができた。指示や説明の英語と日本語のもいいぐらいの割合だったと思う。

⑥トップバッターお疲れ様でした。模擬授業の子ども役をやったときに、どうしてもビンゴの活動をするとなるとビンゴを完成させることが目的になってしまいがちであると思いましたが、活動の前に「会話することが目的」ということを言っていたので、良かったと思いました。

⑦まりんさんは、トップバッターでかなり緊張していたと思うけど、それを感じさせないくらいの事前の授業づくりを細かく深く行っていたので、受けているこっちとしてもとても楽しいためになる授業だった。世界の挨拶を通して異文化理解の意識を身につけさせながらも、l'm○○の表現を身につけさせる授業作りがなされていたので、そういうような英語の授業だけでは収まらない授業づくりを私も意識したいと思った。（名前がありません）

⑧初回の模擬授業お疲れ様でした。まず、まりんさんが堂々と授業を行なっていて、安心して授業を受けることが出来ました。外国語活動の観点から見ると、しっかりとした、音声活動がなされていた点、分かりやすい教具を準備されていた点、子ども同士でコミュニケーションをとる時間がしっかりと確保されていた点がとても良かったと感じました。細かい点は、大城先生が述べられていた様に、少しありますが初回にしてはとても素晴らしい模擬授業だと感じました。

⑨アメリカだけではなく、様々な国のあいさつや国旗を用いることで、異文化理解にもつながることができるのではないかと思う。大城先生の仰ったように、国名の空いているスペースにその国を表すことのできるイラスト等を入れることで、視覚的にも情報を得て、英語の国名と自身のイメージをつなぐ手立てになるのではないかと思う。丁寧な教具、声かけの仕方、常に笑顔をたやさないといった授業をする際の姿勢がとても素晴らしかった。見習いたい。

⑩伊藝さんの授業は、教材が豊富にあり、黒板もとても見やすく、CDで音声も聞けて、とても良い授業だと感じた。活動もとても盛り上がり、ビンゴゲームということで誰でも参加できるというところがとても良いと思った。また、授業を受けていていいと思った。また、プリントを渡す時にも英語で言っていて、そういう小さいところも英語を使っていてそこを真似しようと思った。

⑪1番最初の模擬授業お疲れ様でした。英語をスラスラと話せているのがとてもすごいと思いました。聞き取れたとしても、英語で話すのはとても難しそうだと感じたので私もたくさん練習しようと思いました。Today's goalに”世界の国の人と友達になろう”という表現があって、子どもたちとしても楽しめる様子が想像できるゴールだと感じました。また、あまり馴染みのない国の挨拶は音声教材を使っていたのも良いなと思いました。そして、ビンゴゲームを行う中での注意点をしっかりと確認していて、メリハリがある感じがしました。たくさん参考になることがありました。ありがとうございます。

⑫英語の学習にとらわれず、ビンゴゲームを入れることで、自然と様々な言語の挨拶に子どもたちは馴染むことができ、ビンゴを通して相手ともコミュニケーションが取れるたため、よかった。ゲームの説明の際も、日本語の英語の区別に気をつけていたので、理解もしやすく流れもスムーズにいくと思った。

⑬模擬授業お疲れ様でした！外国語の初めての単元ということを意識して、楽しく難しすぎないように課題が設定されていると感じました。外国語に親しみのない児童でも、いろんな国の挨拶を言ってみたりすることは楽しいし、ビンゴゲームの中で何度も挨拶と名前の言い方を練習することで外国語に無理なく表現に親しむことができました。先生が明るく積極的に英語を使っている姿を見て、英語の授業が楽しく感じられたので、私も頑張りたいなと思います。

⑭まりんさんの模擬授業は、自分のできる範囲で英語を使おうという意識が見れて、子ども達の良いお手本になるなと感じた。教具が工夫されていてわかりやすく、先生のおっしゃっていたようにその国を象徴する何かイラストがあるともっと子ども達もイメージしやすいだろうなと思った。活動内容もとても楽しいもので、みんなが笑顔で活動でき、子ども同士のやり取りが盛んになって良かった。挨拶や基本的な表現は英語を使うけど、説明などは日本語で行うという切り替えも分かりやすかった。

⑮3年生の最初の授業というまだ、英語に慣れ親しむことができていない子どもを対象に授業をするということで、かなり悩んだのではないかと思うが、誰もが参加出来るビンゴという良い教材だったと思う。表情や声が明るく、授業に取り組みやすかった。教具やビンゴカードがカラー印刷されており、視覚的に楽しいものに出来上がっていた。クラスルームイングリッシュを積極的に使っていたため、児童の良い手本となれていると感じた。

⑯教具から工夫が見られて、子どもたちが活動しやすく分かりやすく英語を学べることができる授業でとても楽しかったです！お疲れ様でした！

⑰笑顔で授業をする所がとても良かったです。そうやって緊張がほぐれやすい雰囲気を作ることはとても大切だと感じました。外国語活動はいつもと違う慣れない言語を使用して緊張する子どももいると思いますし、コミュニケーションが大切な科目だからです。そうやって緊張をほぐすことで、失敗をおそれずに楽しみながら学習していけるのではないかと考えました。また、国旗は形は似ているけど色が違う国もあるのでカラー印刷はとても良いなと思いました。プリントや音声教材などしっかり教材を準備していて良かったです。

⑱お疲れ様でした。教材が多く、見やすくて楽しい授業でした。ビンゴも取り入れることで、活動の時間が多くなり、児童が積極的に参加できる楽しい授業でした。また、最初の授業者ということで緊張したと思いますが、笑顔で楽しい授業ですごいなと思いました。おつかれさまでした。（名前がありません）

⑲掲示物がしっかり準備されているところが、とても前準備をしっかりやったんだなという印象があった。ビンゴ活動を通して、面白さも入れながら書く国のあいさつを覚えることができたのも良かったし、更に他の国あいさつも知りたくなった。

⑳挨拶とビンゴを組みあわせたコミュニケーション活動で、とても面白かった。色々と挨拶の種類を学べたし、色んな人と交流できた。やはり、コミュニケーションが外国語には必要だと思った。

㉑ビンゴゲームを通して世界各国の挨拶を自然と楽しみながら覚えれるのが良いと思った。ゲームの説明などの英語で理解するのが難しいところは日本語で、挨拶や掛け声などの簡単で授業で何度も出てくるようなことは英語を使う使い分けが出来ていた。世界の挨拶を先生が全部教える前に子どもたちから引き出すというのが子どもたちが意欲的になれるなと思った。また、４つの定型文を用意してそれを何度もビンゴゲームの中で繰り返し使うことでその文が頭に定着するだろうなと思った。

㉒模擬授業トップバッターで緊張していたと思うけど、とてもレベルが高い授業でした。ビンゴゲームをしながら他国のあいさつを学ぶ活動はとてもおもしろく、活動の前に「ビンゴを揃えることじゃなくて、あいさつすることを目的にかつどうしてね。」と注意していたところはとても良かった。また、児童との会話は英語で、説明するときは日本語で説明して、うまく切り替えができていた。

㉓初めは英語に自信が無いため不安でしたが、今回の模擬授業を通して、子どもたちが英語に親しめるようにまずは『教師が逃げずに英語と向き合う姿勢を見せる』ことが大切だと学びました。緊張しましたが、教具やアクティビティの活動に対して子どもたちが楽しく参加している様子が伺えて嬉しかったと同時に、現場に出た際の外国語活動の授業づくりが楽しみになりました。国旗に対する敬意も踏まえ、今後に活かしていきたいです。賢先生カラー印刷ありがとうございました！（伊藝愛倫）

☞伊藝さんからは「カラー印刷でお願いします」と言われてわけではありませんが，これはカラーじゃないといけないと判断しました（笑）

㉔授業実践で良かった点は，「Here we go!」等の場を盛り上げる言葉かけがされており，雰囲気が楽しんで話せる環境になっていたことだ。また，英語を日本語で訳すのではなくそれぞれを場面ごとに使い分けて使用していたことが，英語を訳して理解するのではなく，直接意味を理解できる力を育成することに繋がると考えた。改善点としては，Activityのカードの配布を，児童に何枚か渡して回していくようにすると，近くの人と自分の国について話してしまい，教師の声が届かない様子が見られた。一人一人に渡したり，裏返して静かに周りの人に分からないように回していくよう声掛けをするなど手立てが必要だと思う。学級の環境としては，外国語活動をするのに適した環境であったと捉える。

【Mさんの授業】



①授業お疲れ様でした！大城先生が言っていたように、児童を引きつける魅力を持っていて、そこは尊敬に値するって思いました！時々文法的にはどうかなって部分があったと思いますが、逆に児童からしてみたら、「英語って、気楽に使ってもいいんだ！！まずは言ってみよう！」という気持ちにさせてくれるので、先生が英語を積極的に使うことの大切さを改めて実感することができました！そして、相手に自分の気持ちを伝えることができたときは、さらに英語を習得することや活動の楽しさが倍になって感じ取ることができるのではないかと思いました！本当にお疲れ様でした！（名前がありません）

②今日の授業は反省しかないです。緊張のあまり授業説明から飛ばしてしまい、曖昧な導入になってしまいました。また準備してきたはずの英語も上手に使えず、散々な授業であったと思います。ただ一方で授業をすることはとても楽しいことを改めて気づくこともできました。授業は下手くそでしたが、みんなの前で授業ができたことは大きな経験です。また次に向けて同級生の良いところをこれからの模擬授業で盗んでいきたいと思います。最後に模擬授業を受けてくださった大城先生そしてみなさんありがとうございました。

③明るくて自然と楽しくなっていきました。動画と面白い歌で分かりやすかったです。子どもから引き出す力がとてもあると感じました。区別するなら、同じもので言い方を変えると子どもたちが戸惑わなくてもっと良くなると思いました。英語と日本語の使い分けがよくできていて適切だったと思います。

④宮國さんの模擬授業では、まず始めに前回の授業は何をやったのかを全体で共有し復習から入っていた。学習の見通しを子どもたちに知ってもらうことで現在、自分がどこを学習しているのかを知ることができ、児童の学ぶ意欲が少し高まるのではないかと思う。宮國さんの模擬授業を受けて最も強く感じたことは、次に何が行われるのかわからないというワクワク感である。復習をした後にみんなで歌ってみようと明るく楽しく教師が児童に呼びかけることで、児童までも楽しい気持ちになる。楽しさを学びに直結して授業が展開されていると感じた。宮國さんが黒板に気持ちを表すいくつかの掲示物を張っていたのだが、「tired」の絵が「sleepy」なのかどちらかわからなかったので、絵の下に単語を提示してもよかったのかなと思った。

⑤授業者の持ち味である明るさが場の雰囲気をよくしていて、参加しやすい楽しい授業だった。歌の導入・繰り返しによって自然と学習フレーズを身につけられる活動だと思った。「How are you ?」や「I'm happy.」などの板書がなかったが、これは、3年生初期の段階では文字を学習していないから、あえて「聞くこと」「話すこと」に集中してもらう手立てになっているようにも考えられた。授業素晴らしかったです。お疲れ様でした！

⑥教材として動画(音楽)をつかうことで、形容詞happy sad sleepy などの表現に親しみがもてた。また、児童が楽しむことの出来る工夫が感じられた。2人のALT(？)の例を示すときに｢どっちが好き？｣と聞く質問の意図がわかりづらかった。｢どっちの方が気持ちが伝わると思う？｣と聞くと質問の意図がわかりやすいかなと思った。

⑦模擬授業お疲れ様でした。文科省以外の教材を準備していて、分かりやすく外国語に親しみを持つことができました。これからも楽しい授業を心がけてください。

⑧こうへいさんは、I'm 形容詞の表現を身につける授業で、天性の明るさと元気で授業を楽しんでいたのがとても印象に残っている。音楽などを文部科学省からではなく、自分で探したものを使用しておりそれが、子どもたちの興味を引きつけるようなものだったので、実際に小学生を対象に授業をしても絶対盛り上がる活動だったと思う。自分の強みを活かした枠にとらわれすぎない授業づくりを私も意識したいと感じた。（名前がありません）

⑨模擬授業お疲れ様でした。楽しい雰囲気作りを自然と出来ていてとてもすごいなーと感じました。英語の後に日本語を言う自然な流れや、10月だけを聞くのではなく、関連する英単語を聞いたり、質問している部分もとても参考になりました。外国語活動の観点から見ると、今回の授業は外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しめる活動があり、とても良かったです。

⑩声のボリューム、テンポ、ジェスチャーや表情、英語を話す際の自信満々な態度、まさに小学校教師そのものであった。あれだけ教師が堂々と英語を喋っていたら、教室全体に英語を喋りやすい雰囲気をつくることができるということがわかった。また、授業初めに歌を歌わせることで、教室全体の雰囲気を明るくするとともに、児童のリラックス効果もあるのではないかと考えた。ボランティアで活動の例示をする際は、誰が見ても分かりやすく行うことの大切さを知ることができた。

⑪宮國さんは、授業全体的に、とても楽しい雰囲気があり、授業がとても盛り上がった。音声も文部科学省からではなく、自分で探していて、オリジナル感があってとても良い授業だと思った。活動もみんな盛り上がっていて楽しそうだった。また、先生が最初に歌を歌うことで子どもたちは歌いやすいと思った。

⑫模擬授業お疲れ様でした。先生が自分も楽しむというのがとても良かったなと思いました。そうすると、子どもたちも自然と楽しく授業を受けることができるのではないかと思いました。コミュニケーションの取り方にも子どもたちに意識させようとしていたのも良かったと思います。そして、文部科学省の教材を使うのではなくて自分でしっかり手間をかけて探すということで子どもたちが楽しい授業になるなら、とても重要なことだなと感じました。たくさん参考になることがありました。ありがとうございました。

⑬すごく明るくハキハキした子どもたちを引きつける声で、授業を行なっていたため、子どもたちも楽しんで参加できるだろうと思った。教師自身が楽しむことで、楽しく学べる雰囲気が作れると改めて学ぶことができた。

⑭Small talkで日付と曜日を尋ねて、月や曜日の復習をしていたことで、英語を使うスイッチを入れることができると思いましたが、ヒントなしでも言える児童ばかりなのか、全員が参加できるのか心配がありました。ジェスチャーの仕方が分からない児童やためらいのある児童でも、ALTの先生がお手本を見せて、ペアで練習するという手順を踏むことで、自分の気持ちを表現してみようという気持になれると思ったので、授業の流れがとても工夫されていると感じました。英語で説明することも大切にしながら、日本語でも説明することで、児童が授業に参加できるように気遣われていたところをまねしたいと思いました。

⑮説明をする際に英語の後に日本語を言っていて、外国語を習いたての3年生にはハードルが低くなって分かりやすいと思った。先生の明るさで全体の雰囲気も明るく楽しくなっていたから、引き付ける力がすごいなと思った。表現を定着させるために動画を見せていたところも良かったけど、歌いながらも次の活動に繋がるように、ジェスチャーをつけさせたりしてもよさそうだと感じた。

⑯授業を盛り上げるための工夫として、明るく積極的に英語を用いたやり取りをしていた。これにより子どもたちも緊張がほぐれ、また受けたいと思うのではないだろうか。歌を取り入れた活動を自分で思いついたのはとても良い点だ。子どもから引き出すような問いかけも真似したい。

⑰先生の雰囲気づくりや授業内での言葉に子どもを引き込める力が見られ、楽しく授業ができました。お疲れさまです。

⑱子どもを惹きつける雰囲気づくりがとても良かったです。歌と映像に合わせて歌いながら、学びたい表現を学んでいくのは面白いと思いました。ALTの先生の所で「どっちが好きか？」という質問は答えるのが少し難しかったです。ただ、賢先生が言われていたように同じ「happy 」でALTの先生で実例を見せながら、コミュニケーションの中で素っ気なくされたら寂しい気持ちになるから、相手の目を見て伝えようという内容が伝わりやすかなると思いました。でも、全体的に先生のパワーと明るさで、とても楽しい授業でした。

⑲お疲れ様でした。こうへいさんらしい授業で、授業を受けていてとても楽しかったです。児童も歌を歌ったり、友達とコミュニケーションをとったり、参加する場面が多かったので、とても楽しい授業だと思います。また、賢先生もおしゃっていたように先生自身が授業を楽しんでいる印象を受けたので、とても素敵だと思いました。お疲れ様でした。（名前がありません）

⑳とても雰囲気が良く、先生がテンションが高かったので児童役も心から楽しめた。自分なりの教材や動画、そして日本語に直してくれる所などの箇所がはっきりしていたのでとても分かりやすかった。先生が元気だととてもパワーをもらえた。

㉑元気のある先生で、生徒側も楽しかった。取り扱う単語も難しいものもあったが、ジェスチャーを混ぜて説明していたので分かりやすかった。

㉒先生と児童とのやり取りが多く相互にコミュニケーションをを取りながら授業を進めていくのがとてもいいなと思い、私もこのような授業を作りたいな思いました。先生が子どもを巻き込んで一緒に楽しむ姿勢がとても大切なのだなと学ぶことが出来ました。

㉓授業の始めから授業者のテンションが高くて、どんな授業をするのかなとワクワクした。英語を話した後に日本語で説明していて、子どもたちが何をしたらいいのかわかりやすく伝わっていた。

㉔子ども達が楽しく授業に外国語活動に参加できるように、オリジナルの教具やCD教材などが工夫されていると感じました。また、教師自身、子どもたちを巻き込む雰囲気づくりがとても上手で、適宜日本語を交えながら、3年生向けの授業の参考になったとともに、いい例と悪い例は、同じ表現で比較した方が分かりやすいなど勉強になりました。お疲れ様さま～‎☺︎

㉕授業実践で良かった点は，授業初めでdateとdayを質問し，他の月や曜日も確認していた活動が，表現の語句の振り返りに繋がると考えた。単元名が「How are you?」であることから，相手の調子を尋ねる雰囲気づくりの基礎は出来たと感じた。改善点としては，英語を日本語にも訳して伝えている場面が殆どで，教師が日本語で言ってくれるから英語の部分は聞かなくても大丈夫と考える児童が出てくる可能性があると思われた点だ。ジェスチャーや視覚教材を用いるなどして日本語で訳さず内容を理解できるよう工夫すると良いと思う。また，二人の教師のモデルにデモンストレーションをしてもらい，「Which do you like?」と児童に答えを求めることは，果たして良い質問であると言えるのか疑問であり，教師の顔色を窺いがちになる。どんなふうに活動するとペアの人にとっていいのか，ネガティブな感情でも伝え方は一元的ではないということに方向をシフトすると良いと考える。

☞日本語に訳すると日本語に頼るようになります。推測しながらでも理解しようとする態度を育成することが大切です。しかしながら，どうしても難しいところ，ゲームのルールの説明など，みんなが理解していないと次に進めないようなところは日本語を使うことも大切です。できるだけ英語で授業を進めながら，必要な場面では日本語を使うようにしましょう。

【Kさんの授業】



①授業お疲れ様でした！ゲームのルールがオリジナリティ溢れるもので、とても面白かったです！また、授業開始のポーズ？みたいなのも先生側のユーモアが感じ取れていました！ただ数を数えるだけでなく、しっかりと他者とコミュニケーションがとれるような活動内容となっていて、知識面にとどまらない活動でした！お疲れ様でした！

②リフレクションが遅くなってしまい申し訳ありません。模擬授業を終え安心感からリフレクションを行うことすっかり忘れていました。 景大さんの授業は児童生徒を引きつける授業であり、説明からのゲーム活動など言葉のキャッチボール、駆け引きなどとても上手でした。ただ一方で小学校3年生を相手とした場合今日のような綺麗な授業展開にはならないと思います。児童生徒に近づいていく姿や、距離感など工夫できたことはあるかなと思います。ただとても上手な授業であったと思います。 お疲れ様でした！

③手書きのカードが手がかかってる分子どもたちが愛着わきやすくてよかったです。パートナーが見つけやすくなるように例で示していて分かりやすく活動に移ることができました。ただ示すだけではなく、子どもから意見を引き出していたところもいいポイントだったと思います。他教科との連携が取れていたのは良かったけど、能力の差が出てきてしまうので、私も授業を作る時に気をつけたいと思いました。独特な振り付けで全体を統一していて楽しさがあっていい取り組みだと思います。

④喜納さんの模擬授業の中で「Let's start English class!」を動作を加えてみんなで言う場面があった。児童にとって流行っているものを取り入れることは授業が楽しいと思える材料の１つになると考える。また、クラスに一体感が生まれ、授業に集中が向けられやすくなるのではないかと考えるため、参考にしたいと思った取り組みであった。目をつぶった後に教師が取った磁石の個数を英語で言う活動があったが、小学校3年生の中には暗算が苦手な子や計算速度が速くない子もいると思うため、何個かを考える時間を少し多くしてみても良かったのかもしれないと思った。私も模擬授業で他教科と関連させて展開できるように教材研究や指導案作りに励みたいと考える。

⑤ペア探しゲームは、「数を問う・答える」の復習をしっかり行った後だったので、対話のテンポがスムーズで、自然と表情やジェスチャーが入り、場が盛り上がったように思えた。私が1点気になったのは、数当てゲームの全体数を確認しなかった点だ。ルール説明をしてすぐに先生がマグネットを取ったので難しく感じた。だから、20までの数の言い方を確認する意味でも、マグネット1つずつ数えるといいいのかなと考えた。楽しい授業でした。お疲れ様でした！

⑥先生の持っているマグネットの数を当てる時に目を瞑らせることで、ワクワク感があった。また、あの活動があることで、より授業に集中することができたと思う。自分と同じ数の果物を持っているペアを探す活動では、活動前にどうやって数を尋ねるかの表現を確認していたので、スムーズにコミュニケーションをとることが出来た。

⑦模擬授業お疲れ様でした。運命の人探しゲームはとても興味がそそられました。ペアが４人もいるということで、最初の活動で終わってしまい退屈する児童が出てこない、とても計算された授業内容だと思いました。ひとつ言うとすると、appleの数が同じだけどstrawberryの数が違うようにすると、appleだけで会話が終わってしまうことが少なくなるのでは無いかと思いました。

⑧けいたさんは、how many ○○?の表現を身につけさせる授業を行っていた。アクティビティがたくさん盛り込まれていて、児童を飽きさせない工夫がたくさん詰まった授業だった。活動それぞれでしっかりと教員からの例示も行っており、授業づくりの丁寧さも感じられた。他教科との関連なども図っていたのでとても考えられた授業だなと感心した。

⑨模擬授業お疲れ様でした。クラスの約束事みたいな、決まり文句みたいなものがあり一体感を感じることが出来ました。また、授業に見通しがあってとてもいい授業だと感じました。大城先生のリフレクションで一番驚かされたのが、他教科の関連をマイナスの意味で説明した点です。私は他教科との関連がある授業は、横断的な授業でいい授業であると感じていたのですが、大城先生が述べられていた様に、たしかに、算数の計算が出来ないから英語の授業に集中出来ないとなってしまっては本末転倒だと感じました。能力に関係なく楽しめるものが3.4年生には必要だと感じました。

⑩授業に入る前に、掛け声を統一したのは、教室に一体感を出すためのとても良い手立てだと思った。また、ペア探しの説明の際には、「ペアを探してください。実はペアは1人だけではありません。もう1人います！」や「ベストパートナーを探そう！」など、児童を盛り上げるための言葉選びがとてもうまかった。外国語活動の授業展開の中で、活動をする際には、他教科との連携を図ることも重要だが、その他教科の苦手意識を考慮することが大切であるということを知ることができた。指導案を作成する際には、能力差関係なく、児童全員が参加し、楽しむことができる様な活動を展開したい。

⑫喜納さんの授業は、最初に授業での決まり事を決めていて、授業の流れを作ることができていて、とても良いアイディアだと思った。そして、活動をする時に、子どもたちに考えさせていて、一方的な授業ではなく、両方向からの授業になっていたと思う。子どもたちとの会話を大事にしていきたいとこの授業を受けて感じた。教材も手作りで、何個か仕掛けも作っていて、驚かされることがあったので、子どもたちは引きつけられると感じた。

⑬模擬授業お疲れ様でした。リンゴやイチゴがいくつか描かれてあるイラストを見せて、何個あるか子どもたちに聞いたあとにみんなで1から英語で数えて確認するのが良いなと思いました。マグネットを先生が隠して、いくつ取ったのか答えるというゲームから英語は他教科との関連も大切だけど、子どもたちの能力に関係なくみんなが楽しく参加できるものを考えることが大切であるということを学びました。ベストパートナーと探すゲームの時には、どうやって探すのかなどとしっかり子どもたちに丁寧な説明がされていると思いました。たくさん参考になることがありました。ありがとうございます。

⑭他の授業者もそうだったが子どもたちに、具体的に実践例を見せることで、活動のイメージができる。また、同じ数の仲間を見つけるというゲームは、始めの単元でもあるし、お互いに共通するものがあることで、新しく友達が作れたり、喋ったことない子と仲良くなるきっかけを作れると感じた。

⑮How many magnetゲームは、習った学習を使うことで、遊びと英語を組み合わせることができる課題で、私は面白いと思いました。また、先生がとったマグネットをみんなで数える活動を繰り返すことで、基本的な数の数え方を全員が身に付けられるように工夫されていると感じました。しかし、算数が苦手な子はみんなと同じペースで答えることができなくて、参加できないかもしれないという意見も納得できました。誰でも参加できるためには、偶然性をもつクイズやビンゴなどの活動で思いついた英語を自由に言える場をつくるという工夫が必要だと学びました。またベストパートナーゲームでは何度も表現を使うことと、同じカードをもったペアを見つける嬉しさもあり、楽しみながら英語の表現に慣れることができる活動だと感じました。

⑯先生も子ども達と一緒に勉強していきたいというような気持が表れていたので、子どもも先生と一緒に学べることを喜べると思った。個数を数えるときに1つずつ指をさしながら数えていたので分かりやすかった。先に先生が答えを言うのではなく、子どもに問いかけて答えを引き出すという手立てがいいなと思った。アウトプットの時間が多かったのも良かった。もう少し先生が英語で話すために、説明を英語で簡単にまとめておくといいなと思った。

⑰教具にオリジナル感があり、愛を感じた。口調が優しく落ち着いて授業に取り組むことができた。ボランティアを募るのも良いが、喜納さんのように、どんどん子どもたちに当てていくというのもまた子どもたちが均等に授業に参加出来る手立てだ。

⑱英語の後にすぐ日本語で説明を加えるなど、英語と日本語の意訳をリンクさせて、子どもたちが英語に寄り添える授業になっていて楽しかったです！お疲れ様でした。(城間夏琳)

⑲同じ個数のペアを見つけようというゲームはとてもワクワクして、楽しかったです、大学生の私達でもこんなに盛り上がるから子ども達はもっと盛り上がるだろうなと思いました。ペアを見つけたくて、沢山”How many apples?”を言いました。沢山映画を使った話したり聞いたり、学んだりする為にも、楽しいというのは大切だなと改めて感じました。

⑳初日の授業者ということもあって緊張していたが、なんとか授業を終えることができてよかった。当初の予定通りにできなかった部分もあり、反省点も多かったので、自分自身でしっかりまとめて深い学びにしたいと思った。また、リフレクションの時間では賢先生をはじめ多くの学生から、助言をもらうことができて勉強になった。特に、児童に問題を出してもらう点や、How manyの際に一部隠して発問することでよりひきつけたり、発言の機会を増やしたりすることで、深い学びに繋がっていくと感じた。しっかり復習したい。

㉑二人の後なのでとても緊張した部分は多いと思ったが、とても落ち着きながらオリジナリティも入っていてとてもよかった。「さいこお！」というもので盛り上げたり「運命の人♡」というものでもとても盛り上がったので、うまいな～と感心した。

㉒独自の挨拶を混じえていたので、独創性があるなと思った。内容を扱ったコミュニケーション活動も楽しかったのでもっと大人数で出来たらなと思った。

㉓マグネットを使って一緒に数を数えていくことで英語の数え方を学べるのは具体的で一緒に数えよう！という気持ちになるからとても良いなと思いました。運命の人を見つけるために同じ数のりんごといちごのカードを持っている人を探す活動のその目的が子どもたちが楽しんで探したい！という気持ちにさせるのも良いと思いました。その中でHow many~の英文を何度も自然と使うのでこの文の使い方とセットで覚えれることに気付かされました。

㉔最初に独特なあいさつのしかたでけいたさんらしい雰囲気が作られていた。一つ一つの活動の例示をすることでやることがわかりやすく伝わった。

㉕お疲れ様～‎！『How many?』1つでこんなにたくさんの活動ができるんだと、アクティビティの幅が広がりました！ルール確認の際に、子どもたちから引き出している点や活動の前にデモンストレーションを取り入れてたため、子どもたちも取り組みやすい流れになっていると感じました。また、他教科と関連させる際は、全員が参加できるよう注意をして授業づくりに当たっていきたいです！勉強になりました！楽しかったよ～ありがとう。

㉖授業実践の良かった点は，Activityの前にデモンストレーションを見せていたことや，クイズ形式で数を数える作業を取り入れていたことが挙げられる。数を数えるauthenticな場面設定として代表的で日常的なものが買い物をする時だと思うが，20を上手く使える場面設定をすると生活との結びつきが図れると考える。改善点としては，英語を日本語に訳していた点や，数の数え方の能力差が出やすくなる点だ。日本語訳については視覚的なものや別の分かりやすい表現で言ってみたり，繰り返して伝えるなどの工夫を図っていくことで改善されるだろう。また，実際に授業を受けてみて，マグネット20個からいくつ取られたかを当てるのは，すぐには答えられない児童も出てくると考えられた。より自然で楽しくコミュニケーションを行えるような外国語教育を生活の中からヒントを得る大切さを感じた。

【担当教員から】

第１回目の模擬授業でしたが3人の授業者とも完成度の高い授業を展開してくれました。正直，驚きました。これから後に続く模擬授業のよいモデルになったと思います。私の感想を簡単に記しておきます。

〇伊藝さん

分かりやすい英語を大量に使っていました。先生の英語を蓄えることによって児童は発話が可能になります。また，ゲームの説明など，どうしても全員が理解していないと進められないような場面では日本語を躊躇わずに使ったところも良かったと思います。地域の言語文化にも目を向けさせるという点からは沖縄の方言の挨拶（もしかして分からない児童も多いと思います）も紹介してあげると良かったかもしれません。ビンゴも授業の目標に合わせて上手く取り入れられていたと思います。

〇宮國さん

何よりも楽しそうに英語を使い授業を展開していたところが印象に残りました。月の名前などを全て先生が言わずに，上手く児童から引き出していたところも良かったと思います。動画も児童の興味を引くものを活用していたので引き付けられました。二人の先生の挨拶を比べる時は，同じ表現を使うことにして，その「言い方」に注目させると良かったと思います。

〇喜納さん

How many? の表現をリンゴとストロベリーに絞って使っていったのは良かったと思います。この単元の授業ではHow many? を使ってリンゴ，ストロベリー，みかん，トマト，スイカ…など多くの果物を出す授業を観ることもありますが，3年生のはじめの段階ですので，そもそもリンゴ，ストロベリー，みかん，トマト，スイカ…などの名詞にも慣れ親しんでいません。名詞を絞って「運命の人」ゲームに持って行ったのは適切な判断だったと思います。算数と関連付けて活動を行うことは他教科との連携という点からはとてもよい活動だったと思います。ただし，算数が不得意で，そのために活動に参加できないようなことにならないように気を付ける必要があります。